

## 「臍ヘルニア圧迫療法の有効性」についての研究のお知らせ

2016年1月から2018年11月までに、芳賀赤十字病院小児科で臍ヘルニア圧迫療法を行ったお子さまを対象とした研究を行っていることをお知らせします。

### 1. 研究の意義と目的

臍ヘルニアは新生児の20～30%に見られ、1歳までに約80%が、2歳までに90%が自然治癒するとされています。臍ヘルニアに対する圧迫療法は古くから行われていますが、接触性皮膚炎の合併が多いことや自然治癒率が高いことから、圧迫療法を行う施設は少なく、多くの施設は無治療で経過を観察し、2歳までに自然治癒しない場合に外科治療を行うのが従来の方針でした。

一方、近年、圧迫療法の有用性が散見され、臍ヘルニアの治療法が見直されています。2016年以降の報告では、圧迫療法の治癒率は82.9～99.4%とあり、今後、臍ヘルニアに対する圧迫療法が普及していくと推測されますが、圧迫療法の有効性や安全性を検討した報告はまだ少ないのが現状です。そこで今回、当科で行った臍ヘルニア圧迫療法の有効性と接触性皮膚炎の発生率を解析し、より良い治療アプローチを検討することを目的としています。

### 2. 研究の方法

芳賀赤十字病院小児科で臍ヘルニア圧迫療法を行った方の電子カルテの情報から以下の項目を解析します。

性別	在胎週数	出生体重	圧迫療法期間	圧迫療法開始時期
圧迫療法の効果	合併症の有無	皮膚炎の 程度		

### 3. 個人情報の保護について

この研究では、お子さま個人を特定する情報が公開されることはありません。調査対象となるお子さまお一人お一人へのご説明は致しませんが、お子さまの情報をこの研究に用いられたくないとお考えの場合にはお申し出ください。調査対象から省かせていただきます。この場合でも、診療や病院サービスにおいてお子さまへの不利益はございませんので、遠慮なくご連絡ください。なお、連絡が届いた時点で、すでに研究成果が発表され修正が不能である場合があります。この研究は2020年3月31日までを予定しており、研究期間終了後は得られた情報は診療実績情報として保管します。

この研究についてご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：芳賀赤十字病院小児科 相楽昌志、齋藤真理

電話：0285-82-2195 FAX：0285-84-3323